

(様式1)

令和5年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(広沢小) 学校運営協議会長

<本年度の目標>

- ・昨年度立ち上げた、広沢小見守り隊の活動がより良い取組になるように、活動についての情報公開の仕方等を協議していく。
- ・学校運営の重点である、子供たちの人間関係形成能力の育成に向けて、いじめ対応や人間関係づくりの取組を保護者や地域と共有していく。
- ・地域と学校との交流を促し、授業やクラブ活動、教師のサポートに地域の人材を活用していき、教師の負担軽減等の働き方改革を図っていく。

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 校長から令和5年度学校運営の基本方針について説明があり、委員全員が異議なく承認し、学校の教育目標や課題を共有することができた。
- 広沢小の学校教育目標が分かりやすい言葉と具体的なデザインで表されていて、協議会委員全員が教育目標と目指す学校像を理解し熟議することができた。
- 第1回協議会において、令和5年度学校運営方針の詳細な説明を受け、今年度重点的に取り組む①「かかわる力」②「かいけつする力」の育成の二つについて理解し、熟議することができた。

<評価項目2> 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 学校支援活動では、長期に渡り、地域人材(老人会・茶道講師・地域の歴史)が子供たちの知識向上の一助を担っている等の説明を聞き、さらなる協力体制や人材発掘の強化について熟議をすることができた。
- 学校運営協議会委員が読み聞かせボランティアや図書館ボランティア、大掃除ボランティアに参加し、委員自ら絵本を通して子供たちとの時間を共有し、交流を図ったり、図書室や教室の環境整備の支援をしたりして、学校の現状を把握することができた。
- 昨年度、広沢小見守り隊が発足し、登下校時の子供たちの安全を見守ることで、地域とともにある学校像が具現化されてきている。
- 第2回の「広沢小学校いじめ防止基本方針」の理解や第3回の外部講師を招聘した授業参観などを通して、子供たちの「かかわる力」「かいけつする力」の育成を実施していることを認識し、熟議を進めることができた。

<評価項目3> 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- CSだよりや学校だより「くすのき」等において、協議会の様子や結果について情報発信していた。
- 地域見守り隊への理解と協力を深めるため、所属する自治会の役員会等の活動の場で協議会の情報発信を行った。
- 広沢小学校いじめ防止基本方針について熟議したが、地域にいじめ情報発信を行っていくことは、非常に難しい問題であり、これからの大きな課題である。

<評価項目4> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- 広沢小の子供たちに付けたい力(人間関係形成能力、課題対応能力)を共有し、一緒に考えていきたい。
- コミュニティ・スクールの具体的な取組を地域に発信し、充実した活動を行うための人材発掘の強化を続けていく。教師のサポートに地域人材を活用することで、教師の働き方改革を図っていく。
- 広沢小見守り隊のさらなる地域との連携強化を図っていく。